

●山本太郎著『抗生物質と人間』ペ  
ニシリンの発見以来、抗生物質は人類の  
福音となった一方で、過剰使用による耐  
性菌の問題が深刻化している。アレルギー  
や糖尿病など短期間で急増した「現代  
の疫病」の原因は、抗生物質による体内  
の細菌叢の攪乱との指摘も。微生物と共  
生する「ヒト」の歩みから、医療のあり  
方を再考する。(岩波新書・821円)

朝日新聞 2017年11月12日